

2004年1月～2013年12月に国立がん研究センター中央病院にて卵巣がんに対する治療を受けた方へ

研究:「卵巣癌I期の予後に関する後方視的研究」の実施について

1. 本研究の意義および目的

卵巣がんに対する標準的治療は、子宮と両側付属器の摘出手術および術後化学療法として確立されています。I期卵巣がんの中には、子宮や健常な卵巣を温存する手術や、術後の化学療法を省略する事があります。最近国内で治療の縮小化を図る臨床試験が行なわれております。今回私共はI期卵巣がんで治療を行なった方の治療経過を集計し、再発が起りやすい因子は何かを検討したいと考えております。その目的は、縮小治療を安全に行なうために、I期卵巣がんの中での再発危険群を抽出することにあります。

2. 研究の方法

研究の対象となる患者さんは、国立がん研究センター中央病院において、2004年から2013年の間に初回治療を開始した卵巣がんI期の方です。

対象患者さんについて、診療録から病理組織学所見、手術術式、術後治療、術後の経過についての情報を収集し、統計学的な解析を行ないます。取得した診療情報には番号を付与し匿名化いたします。

3. 試料等の保存および使用方法について

集積した資料は国立がん研究センター内の個人情報の管理が許可されているサーバーにデータを保存します。本研究以外で使用することはありません。

4. 研究全体の期間と予定される患者さんの数

研究期間は国立がん研究センター中央病院にて研究許可後1年間です。予定される患者さんの数は115名です。

5. 研究結果の公表について

本研究の成果は婦人科腫瘍学に関する全国学会、国際学会および学術雑誌で発表いたします。

6. 研究の開示について

この研究について、さらに詳しい内容を知りたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画、方法(および結果)についての資料を見ることができます。希望される場合は、下記(10)連絡先までご連絡ください。

7. 個人情報に関して

個人のプライバシーに関する情報は守られ、個人が特定されることはありません。

8. 本研究への参加を拒否する場合

情報公開用文書

本研究の対象となることを拒否される場合は、研究対象から除外いたします。下記(10)連絡先までご連絡ください。

9. 研究機関、研究責任者および研究者

【研究機関】 国立がん研究センター中央病院

【研究責任者、研究事務局】 婦人腫瘍科 外来医長 石川光也

10. 連絡先

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科 石川光也

TEL: 03-3542-2511 内線 7847

FAX: 03-3542-2547

本研究の対象となることを拒否する場合は、連絡先までご連絡下さい